



発刊のことば

八戸市医師会

会長 熊谷 俊 一

八戸市医師会は、昭和22年12月15日に設立登記し発足しましたが、創立25年と50年目に記念誌を編纂しそれまでの医師会先哲の軌跡を現在に伝えてきました。

そして本年創立75周年を迎えるにあたり50年後の25年を75周年記念誌として編纂し記録を繋ぐことと致しました。

現在八戸市医師会は、八戸准看護学院、休日夜間急病診療所、在宅介護支援センターや臨床検査センターを運営し、地域の医療・福祉に寄与し会員への情報発信に務めています。

また医師会内には多くの委員会があり各委員会は行政、関連団体と密接に関わり地域医療を担い、更には医師会内の21の診療科別分科会では、講習会等を開催し最新知識、先進医療を習得し地域の医療、健康保持に貢献できるよう研鑽しています。

このように事業を継続できましたのは、多くの会員の先生方のご協力や行政や関連団体の皆さまのご支援のもと成しえたと感謝申し上げます。

本年1月には、当医師会は青葉地区から田向地区に新築移転し、職員一同気持ちを新たに事業を開始しております。この地には八戸市総合保健センター、八戸市健診センターが隣接し、医療・保健・福祉・教育の拠点となりますので、医師会は行政と共にその一翼を担っていくべく努力を重ねてまいります。

しかし近年は超少子高齢化社会により医療政策が千変万化しその対応に追われ、更にはCOVID-19によるパンデミックに見舞われ医療崩壊の危機を経験しています。当医師会としてはこれまで幾多の経験を積まれた先輩諸先生方の多様な事例を学び、現在そして今後起こりうる諸難問に対処したいと考えております。

医師会はこれからも会員の皆さまの期待に答えまた協力しあい地域医療に貢献するよう活動して参りますので今後ともなお一層のご指導、ご支援をお願いし、医師会活動を未来に繋げたいと思います。

最後になりましたが本誌編纂に尽力されました松橋編集長をはじめ委員の皆さまに深謝致します。

